

エネルギー総合工学コース



タフな環境が、
今の自分のベースを
作ってくれました。

北見工大では機械工学科(現・エネルギー総合工学コース)でエンジンの研究を行っていたこともあり、現在はいすゞ自動車ディーゼルエンジンの開発や試作品の耐久評価、強度解析などの業務に携わっています。

取り扱っているエンジンはタフな環境での使用が想定され、耐久性など乗用車のエンジンとは違った視点でのものづくりが求められます。

北見工大は寒冷地に特化した研究が多くあり、厳しい自然環境での工学研究は大変意義のあるもので、今の仕事にもその経験が生きていると実感しています。

そのほか実際の現場でも、大学での講義の内容が仕事に活かされる場面は多く、いまだに学生時代に覚えた内容を振り返っています。また、組織の中で働くには、論理的な思考能力と周囲とのコミュニケーションも大切。北見工大での4年間では、工学の知識だけでなく、仲間や教授、自然豊かな環境を通じて一人の人間として成長させてくれる場でもありました。

就職先

いすゞ自動車
株式会社

片山 悟さん(北海道中標津高等学校出身)

機械工学科 2013年度卒業 /
機械工学専攻 2015年度修了

環境防災工学コース



仕事は、一生勉強。
自律型思考と
チャレンジ精神を胸に、
もっと住みよい未来づくり。

大学では社会環境工学を専攻し、大学院では河川防災に関する研究を通して、土木や自然環境に幅広く関心を抱くようになり、その調査・研究、設計に携わることができる総合建設コンサルタントへの就職を目指しました。

現在はパシフィックコンサルタンツ株式会社の上下水道部に所属し、各地の水道施設や浄水場の計画や設計に関わる業務を行っています。会社選びは、自律型思考で個人の意見を尊重してくれる企業の懐の深さに感銘を受けたことがきっかけでした。もちろん仕事は1人では行えませんが、言われたことをこなすのではなく、プロジェクトを成功させるにはどうしたらよいかを考えながら働くことに日々やりがいを感じています。社会では、聞く力や提案力、学んできた知識の応用力がなければ、よい仕事はできません。その点では、大学や大学院での授業や学会発表を通して、わかりやすく説明する能力を養えたことは私にとってのプラスになりました。

北見工大は社会環境工学を学ぶには絶好のキャンパスだと思っています。教授との距離も近く、同じ志を持つ全国から集まる仲間もたくさん。人との関わりを大切にして、色々なことに挑戦する気持ちを養ってください。

就職先

パシフィック
コンサルタンツ
株式会社

伊藤 朱花さん(札幌日本大学高等学校出身)

社会環境工学科 2017年度卒業 /
社会環境工学専攻 2019年度修了

先端材料物質工学コース



自分の気持ちに、
妥協はしない。
視野は絞らず、目標は明確に。

卒業後はプラスチック材料の製造・販売を行う出光ファインコンポジット株式会社に研究開発職に就いています。大学・大学院でも高分子化学を専攻し、プラスチックについての研究をしていたので、会社ではその知識や技術を生かしながら、お客様の要望に応えられる素材開発を進めています。業務では知識や技術もさることながら、お客様への技術説明も大切。営業担当に同行して、開発者として素材の特性や優位性をわかりやすくプレゼンします。また、社内の若手チームが主体となってアイデア出しから実験、組み立てまでを一貫して行うことも。まだ経験が少ない研究者に様々なチャンスを与えてくれることはとてもありがたいことと感じています。その一方で、研究では思ったとおりの結果が出ない場合もあります。そんな時は年齢関係なく、みんながアドバイスをくれ、支えてくれる環境が職場にはあります。

学生時代を振り返ると、入学時は食品バイオに興味がありました。しかし、講義や仲間との話し合いを通して視野が広がり、やりたいことが材料分野へシフトしていきました。私は途中で目標を変えましたが、視野は絞らずにやりたいことを明確にしておくことは必要。自分の思いに妥協せず、有意義な学生生活を送ってください。

就職先

出光ファイン
コンポジット
株式会社

渡部 悠平さん(宮城県多賀城高等学校出身)

マテリアル工学科 2017年度卒業 /
マテリアル工学専攻 2019年度修了

機械知能・生体工学コース



幅広い学びがチカラと
なって今の自分に
つながっている。

北見工大では旧電気電子工学科に在籍していました。入学当初は、電化製品や電子機器を分解、カスタマイズすることが好きだったので、将来はそのような業種に携わりたいと考えていました。しかし、大学には様々な講義があり、それまで興味がなかった分野も実際学んでみると面白く、その結果好きだった電子機器関連ではなく電力会社に入社しました。現在は紋別バイオマス発電株式会社で火力発電所のオペレーション、パトロール、メンテナンス、省エネ投資検討など運転管理業務を行なっています。仕事では複雑なプラントの特性を理解して、確実な操作を行うことが求められます。専門的な知識を学ぶ必要がありますが、大学時代に電気について広く勉強したことでスムーズに理解することができ、現在の仕事にも生かされています。忘れられないのは北海道胆振東部地震の日のことです。プラントの急変動に対応し、安定運転の継続ができたので大事には至りませんでした。もしあの時オペレーションを間違えてしまっていたら大きなトラブルを招いたかもしれません。電力供給という公共性の高い業務はプレッシャーもあります。でもその分やりがいも大きいです。大学生活を通じて地元へ貢献できる仕事に出会えて本当に良かったと実感しています。

就職先

紋別
バイオマス
発電株式会社

杉本 洋也さん(北海道滝上高等学校出身)

電気電子工学科 2016年度卒業

情報デザイン・コミュニケーション工学コース



自ら行動して、進む。
本当にやりたいことを見つけるために。

イメージングコミュニケーション事業部のシステムエンジニアとして生産管理や工場管理に関わるシステムの開発・保守・運用に携わっています。

皆さんが目にするものとして挙げる、物流や食品包装資材のバーコードや日付印字は、当事業部が担当しているシステムです。普段はパソコンと向き合ってプログラムの修正をしていますが、自分が保守したシステムが工場で正常に動作して使われているのを見たとき、しっかりと現場で利用する人がいることを実感し、そのやりがいやまた頑張る糧となります。

自ら行動して進む。これは仕事を進めていくうえで重要な姿勢だと思います。研究室でお世話になった先生も行動的な方でした。研究室の先輩たちのようになりたいと憧れて、研究の面白さを知り、こうして本当にやりたいことを見つけられました。本当に大切なのは、大学で何をするか、どう過ごすかだと思います。

就職先

株式会社DNP
情報システム

信太 結花さん(北海道釧路江南高等学校出身)

情報システム工学科 2013年度卒業/
情報システム工学専攻 2015年度修了

社会インフラ工学コース



「女は度胸」。
積極的な姿勢が、
自分を大きく成長させる。

建設コンサルタントの仕事に携わっています。都市整備事業の立案から構想、地質調査、設計、維持管理まで、その業務は幅広く、私はシステム開発を行う部署に所属しています。

この仕事を選んだ理由は「考えること」が好きだからです。大学生活の中で、自分で計画し、検討、提案、実行することに面白みを感じるようになりました。

提案には専門の知識や技術が必要ですが、それを受け入れてもらうにはわかりやすい説明力も大切です。提案したものが受け入れられ評価をもらえると、嬉しいですし自信にもなります。はじめは戸惑うことも多かったですが、仕事の進め方を覚えていくうちに打ち合わせなどでも積極的に発言できるようになりました。できることが増えた分、課題もまだまだだと痛感することもたくさんあります。その時に思い出すのは学生時代の経験です。何かに挑戦することで、解決策が浮かんだり、別の道が見えてきたり、そういった経験値が仕事でも生きていくのだと信じています。

就職先

日本工営
株式会社

石田 樹里さん(青森県立黒石高等学校出身)

社会環境工学科 2015年度卒業

バイオ食品工学コース



失敗を楽しみながら、
挑戦を続ける。
決断に迷ったときは、
ワクワクする道を。

カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」のメンバーとして、日本国内をはじめ世界各国で行われる大会に出場しています。北見市の皆さんや職場である北見石油販売株式会社は、活動に集中できるように全面的にサポートしてくださり、とてもありがたく感じています。ロコ・ソラーレでは、オリンピックでメダルを獲得するなど、本当に多くの経験をさせてもらっています。大きな試合に勝ち、注目されることはプレッシャーでもあります。その重圧からか、私たちは大切な試合の前に、必ず大きな負けを経験してきました。しかし、その失敗から沢山のことを学んできたからこそ、強くなってこれたとも実感しています。これは学生時代に、実験で失敗を繰り返しながらも諦めずに挑戦をして、正解を導いていくプロセスにも通じる部分でもあると思っています。失敗は全てネタができたと思ひ、みんなで笑い話にして楽しむくらいがちょうど良いのかも。

北見工大を卒業し、結果としてカーリング選手という大学で学んだ知識を活かすことのないスポーツを選択しましたが、無駄なことは何ひとつないです。これまでの人生で何かを決断する時は、ワクワクする方を選んできました。その決めた道で何をすべきかを考えて、しっかり努力を続ければ必ずいい結果が返ってくると思っています。

就職先

北見石油販売
株式会社

所属
チーム

ロコ・ソラーレ

鈴木 夕湖さん(旭川工業高等専門学校出身)

バイオ環境科学科 2012年度卒業

地域マネジメント工学コース



目指すは、
クラフトビールで地域創生。
乾杯をもっと美味しい、
コミュニケーションに。

クラフトビールの会社で醸造担当をしています。ビールの美味しさや出会ったのは、学生時代に語学研修で訪ねたドイツ。本場の味に魅了され、それ以来クラフトビールが好きになり、今では仕事にしています。

醸造の仕事は管理が大事です。ビールは出来上がるまで1ヶ月以上がかかります。でも、どんな味になるかは完成するまでわかりません。出来上がりの味を想像しながらホップや麦芽の種類や使い方を決め醸造を行います。そして毎日の発酵管理、洗浄を丁寧にやっていきます。

自ら企画し、実現に向けた同僚との議論や計画、そして実行と、マネジメント工学コースでの学びがさまざまな場面で息づいています。

今後はクラフトビールを通じた地域創生や、各地の特産物を使ったビールの開発など、常にコミュニケーションを大切にしながら事業に関わっていきたくと思っています。

高校生の皆さんには、どんなことでも無駄な時間なんてないということを伝えたいです。その時は不安や疑問に思うことも、長い目で見ると必ず人生の役に立つはずですよ。

就職先

合同会社
カンパイ日和

津川 渚奈於さん(秋田県立横手清陵学院高等学校出身)

社会環境工学科 マネジメント工学コース 2016年度卒業